



夢いっぱい
舞鶴っ子

学校教育目標

「豊かな心を育み 自ら考え 学び
たくましく生きる舞鶴っ子の育成」

舞鶴小ホームページ

「大分市 学校ホームページ」で検索すると、リニューアル後の新しいホームページを閲覧することができます。
日々の様子や、その日の主要配布物等を載せています。

せ…先手あいさつ
ち…ちこくをしない
あ…「ありがとう」が飛び交う学校に
2月のめあて: 「しっかり せいとん」

令和元年度 第3号 令和2年1月28日(火)

待望の北校舎が完成し、子供たちも新しい生活に慣れ、元気に過ごしています。

3月から南校舎改修作業に入るため、南校舎からプレハブ校舎への引っ越しも目前に迫っています。慌ただしい中ですが、1年間のまとめをし次の学年への準備に努める学期にします。

第2号と同じように、第1号で紹介した本校の2学期の取組について、児童や保護者の皆様にお書きいただいたアンケート結果等を基に自己評価しました。その概要を以下の4つの重点目標に沿ってお知らせします。

(◇は、各重点目標に関し本校が目指すべき児童の姿として掲げた数値目標とその達成状況を表しており、その数値目標を達成するために本校が取り組んできた具体的取組の振り返りを(1)～に、3学期以降の取組の改善策等を○で示しています)

1 自ら学ぶ姿勢を身に着けた児童の育成

◇ 「国語、算数の各単元テストの平均点を80点以上にする」

国語の全校平均点は84.4点、算数の全校平均点は84.3点であり、目標をクリアしました。

| 2学期末アンケート項目、右欄は各項目に肯定的に回答した割合 | 児童 | 保護者 |
|---|-------|-------|
| (1) 登校後15分間の「スキルタイム」に落ち着いて取り組んでおり、漢字や計算の力がついた | 92.6% | |
| (2) 1時間の授業の中で「今日は何を勉強したか」「何ができるようになったか」が分かる | 91.5% | |
| (3) 長い文章を読んだり書いたりする家庭学習課題にあきらめずに取り組むことができた | 89.3% | 81.9% |

- スキルタイムで、漢字プリントと「百ます計算」、読書等に3学期も取り組ませます。
- 授業の最後には、「何を学んだのか」をできる限り自分の言葉で振り返らせます。
- 読解力等を高めるため、3～6年生は新聞記事を活用した週末課題に、1・2年生は授業内容と関連したプリント等に取り組ませ、日常的な家庭学習の習慣化を目指します。

お子さんの学習を促す励ましや学習スペースの確保、静寂な時間の保障、マル付け等、保護者の皆様の可能な範囲でのご協力も引き続きよろしくお願いたします。

2 ルールやマナーを大切に、思いやりのある児童の育成

◇ 「学校の決まりを守り、友達にやさしく接する児童の割合を90%以上にする」

「せ・ち・あ」や毎月の生活目標、「生活のきまり(舞鶴の子ども)」を守ることができた児童は、いずれも90%以上であり、「まわりの人のことを大切に考えることができた」児童は96.1%であり、目標をクリアした。

| 2学期末アンケート項目 | 2学期 | 1学期 |
|---|-------|-------|
| (1) 様々な行事等を通じて子供同士のつながりが密になり、「学校が楽しい」と感じている児童 | 92.2% | 84.0% |

- 生活のきまりを全校朝会等で確認するとともに、児童の良かった言動や毎月の生活目標に対する各クラスの取組等について紹介します。
- 児童同士のつながりを深める集会や「なかよし班活動」、道徳教育に今後とも取り組むとともに、定期的なアンケートや観察等により「いじめ・不登校」を防ぎ、早期発見・対応に努めます。

3 健やかでたくましく生きる児童の育成

◇ 「『運動に一生懸命に取り組む、体力がついたと思う』児童の割合を80%以上にする」

95.2%であり、目標をクリアしました。

(ウラへ続く)

- (1) 体育の授業開始時にサーキット運動に取り組み「頑張りカード」に記入させ、自分の成長を振り返らせました。
 - (2) 昨年度の記録をもとに、自己記録更新という具体的な目標を設定し、持久走に意欲的に取り組ませました。
 - (3) 2学期の「げんき週間」の取組では、就寝時刻に関する目標達成率が44.0%でした。
- 「なわとびタイム」に全児童を参加させ、「頑張りカード」で目標の設定とそれに対する振り返りを行わせています。
 - 休日明けに前日の睡眠チェックを行い、睡眠時間に対する児童の意識向上を図ります。

4 小中一貫教育の推進

◇ 『『道徳の授業では、友達と話し合い、自分なりの考えを持つことができた』児童の割合を90%以上にする』93.5%であり、2学期も児童の「考え」が交流され、更に考えが深まっていることが伺えます。

本校全体の授業に対する取組として道徳科に焦点を当て、また、城東中学校区内の4小中学校で同様の取組を行っています。

- (1) 10月9日(木)に本校で2つの道徳授業を行い、校区全教職員が参観・授業後の検討会を行いました。また、12月25日(水)に城東中学校で本年度の取組を振り返る合同研修会を実施しました。
 - (2) 児童が自分の考えを広げたり深めたりできる道徳科の効果的な授業展開についての校内研究を計画的に実施しました。
- 上記(2)について、これまでの取組を生かし、授業の内容に合った進め方のパターンを試行し、様々な意見が交流する授業の在り方の研究に継続して取り組みます。

※ 以上の内容を2月19日(水)の学校評議員会で説明し、ご意見等をいただく予定です。

5 その他

アンケートへのご協力ありがとうございました。「設問7(自由記述欄)」に9名(無記名の方を含む)の保護者の方からご意見等をいただきました。いただいた内容については全職員で情報共有し、今後の上記対応策に取り入れたり、私たちの大きな励みとしたりしたところです。

本校の教育活動や、いじめ・不登校の取組に関するご意見で、記入者の記名があった以下の2点について紹介し、学校からの回答とさせていただきます。

今後とも、学校のことやお子様のことで疑問に感じることやご意見等ありましたら、遠慮なくご相談ください。

- 実際に、いじめ、不登校の取組をどんなふうに行っているのか、もっと具体的に詳しく明確にしてほしい。
 - 全児童に対し「いやな思いや悲しいことがなかったか」をたずねる「生活アンケート」を毎月実施しています。気になる記述があった児童については学級担任がその状況把握をし、内容によっては本校「いじめ・不登校防止対策委員会」を開催し解決に当たります。詳しくは、本校ホームページのトップ画面>学校安全>いじめ防止基本方針 をご覧ください。
 - また、日常的な児童の様子や、裏面「2 ルールやマナーを大切にし、思いやりのある児童の育成」に係る取組等について、毎月開催する生活指導班会議で情報交換するとともに、今後の指導の方向性について協議しています。
 - 不登校(傾向)児童については、スクールソーシャルワーカーや関係機関職員を交え、組織的に児童の状態や児童を取り巻く環境も含めた背景・原因を探ることで、状況の改善に向けた目標設定と具体的な手立てを考えるためのケース会議を開催(2学期は5回開催)し支援に当たっています。

- 希望者は給食後、歯みがきができるとうい。
- 「大分市立学校歯と口の健康づくり」事業の一環として、本校においても歯科衛生士による歯みがき指導やフッ化物洗口の取組を行っており、食後の歯みがきの重要性については十分に認識しているところです。実施に当たっては、歯みがき道具の管理や衛生上の問題が懸念されます。また、そういった問題解決のためには、教育活動の一環として全児童対象に指導する必要がありますが、例えば南校舎2階(1・2・4年生)では蛇口12個(トイレの蛇口は含まず)を119名の児童が使うことになるため、昼休みの遊び時間が減ることが心配されます。曜日ごとに実施学年を固定するなどの方法も考えられますが現実的ではないと思います。どうぞご理解ください。